

ランドときわ

令和7年8月1日

第64号

発行 ランド常磐の会
責任者 会長 石岡 靖夫
事務局 水戸市常磐市民センター
TEL 029-233-7005
印刷 (株)高野高速印刷
ロゴタイプ: 加藤木 洋一



みんなで楽しく踊った
春まつりのフィナーレ



常磐小学校の皆さんの演奏とダンス



地域の皆さんの作品を展示

ときわ春まつり

とき 令和7年2月15日(土)

場所 常磐市民センター
常磐小学校体育館

おかげさまで
賑やかなお祭りとなりました



子ども達に人気の模擬店



たくさんの品物がそろったバザー

ランド常磐の会 令和7年度 事業計画

令和7年

4月	ランド常磐の会・社会福祉協議会・自治連合会定時総会
5月	常磐市民センター花壇植込み、防犯灯のしおり配布
6月	洪水ハザード避難訓練
7月	那珂川・沢渡川クリーン作戦
8月	ときわ夏まつり、広報紙「らんどときわ」第64号発行
9月	健康づくり体力測定
10月	ときわ地区スポーツ広場、福寿のつどい
11月	野外研修、防災研修会
12月	ふれあい交流会、パンポン大会

令和8年

1月	新春のつどい
2月	ときわ春まつり、広報紙「らんどときわ」第65号発行
3月	市広報紙等配布委託料支払、町内会分担金納入

令和7年度 定時総会を開催

4月19日(土)に、ランド常磐の会、社会福祉協議会常磐支部、常磐地区自治連合会の定時総会が、町内会長をはじめ各団体の役員が出席し開催されました。いずれも、令和6年度事業報告・決算、令和7年度事業計画・予算が承認・可決されました。



ランド常磐の会を構成する団体

水戸市ランド常磐の会は、地域内にある次の14団体により構成されています。

- ・子ども会育成連合会
 - ・高齢者クラブ連合会
 - ・自治連合会
 - ・社会体育振興会
 - ・ふれあいでんわの会
 - ・社会福祉協議会
 - ・食生活改善推進員会
 - ・女性防火クラブ
 - ・女性会
 - ・保健推進員連絡協議会
 - ・常磐小学校PTA
 - ・常磐認定こども園PTA
 - ・水戸一中学区青少年育成会
 - ・民生委員児童委員協議会
- これらの団体の皆さんが、連携・協力し、ランド常磐の会の各事業を実施しています。



民生委員児童委員協議会の活動を紹介します

常磐地区では、民生委員・児童委員が27名、そのうち2名が主任児童委員として活動しています。地域の皆さんが安心して暮らせるよう、生活の困りごとや心配ごとに関する相談に応じたり、必要な支援を受けられるよう、地域の専門機関につないだりする活動をしています。

民生委員・主任児童委員の活動

民生委員は、ひとり暮らしの高齢者宅の訪問、声かけ、見守り活動をおし、相談を受けた場合は、中央高齢者支援センターと連携、協力し、福祉の団体、施設等をスムーズに利用できるようなお手伝いしています。また、市や関係団体と協力し、災害時の避難に支援が必要な方の調査確認もしています。

主任児童委員は、学校などと連携しながら、いじめや不登校問題などの相談や児童虐待の早期発見・対応など子供達の問題を専門に担当しています。

協議会の活動

委員としての活動を深める必要から、多岐にわたる研修を開催しています。先日は、水戸少年鑑別所を訪れ、少年審判・鑑別の流れ、地域の非行・犯罪の

防止、青少年の健全育成の取り組みについて研修しました。また、ランド常磐の会や社会福祉協議会が主催する夏まつり、スポーツ広場、福寿のつどいなどの運営スタッフとして、地域の方々の交流・親睦に協力しています。

地域の相談役

昔も今も「地域の相談役」の役割は変わりません。相談した方の個人情報を守られますので、困ったことなどがありましたらお気軽にご相談ください。ご近所同士の助け合い、お付き合いかから少し輪を広げ、地域の身近なボランティアとして、民生委員・児童委員の活動をしてみたい方は、水戸市福祉総務課にお問い合わせください。



鑑別所での研修

防災研修会



令和6年11月29日(金) 常磐市民センターにて、防災研修会が開催され、ランド常磐の会の役員、各町内会から計61名が参加されました。

はじめに、水戸気象台 上原秀晴防災気象官が、「大雨に関する気象情報とその利用」と題し、地球温暖化の影響、気象台が発表する気象情報の説明と、その入手方法について講話されました。全国各地で大雨による土砂崩れや洪水などの災害が頻発する昨今、受講者は真剣に耳を傾けていました。

続いて市防災・危機管理課の職員の指導のもと、簡易トイレや段ボールベット、簡易間仕切りなどの組立てなど、避難所の開設を体験しました。



段ボールベットを組立てる参加者の皆さん

地域学校協働活動
落ち葉清掃

地域学校協働活動は、現在市内全地区で実施されており、その活動内容は、各学校と地域が協議し定めています。

常磐小学校は、緑豊かな環境ではありますが、一方多量の落ち葉が発生しています。その状況から、常磐地区では、小学校の環境美化活動を地域が支援することとし、令和5年度から落ち葉清掃を協働で実施しています。

令和6年度は12月20日(金)に、ランド常磐の会の役員、周辺の町内会の皆さん、先生方、児童の皆さん約40名と一緒に、校庭と周辺道路の落ち葉を掃き集めました。地域の参加者は、改めて落ち葉の量の多さを実感していました。



道路もきれいになりました

パンポン大会



これまで市民運動会等で体験コーナーを設け、地域の皆さんに紹介してきましたパンポン。12月26日(木)、常磐小学校体育館で34名の方が参加され、初めて大会が開催されました。

パンポンとは、大正10年ころ、日立製作所の従業員の中で始まった、卓球とテニスミックスしたようなスポーツです。木製のラケットと軟式テニスボールを使用し、いつでも、誰でもできるのが魅力。「パンと打って、ポンと弾む」ことから、パンポンと名付けられたとのこと。

「パン」とボールを打つ音が響き渡る中、参加者の皆さんは楽しそうにゲームに興じていました。



木製のラケットとネットは手造りです

令和6年度
ほう賞受賞者

水戸市及び水戸市住みよいまちづくり推進協議会が主催する「水戸市民の集い」において、常磐地区では、次の方々が令和6年度のほう賞を受賞されました。(順不同・敬称略)

●永年勤続町内会長ほう賞

●20年勤続 櫻井 道夫
●10年勤続 後藤 良之

●市民憲章ほう賞

●功績賞 三宅 芳子
磯畑 たづ美
津口 純子

常磐市民センター
新所長を紹介します

4月の人事異動により、藤枝一典さんが、所長に任命されました。藤枝所長は、「地域の皆様のご支援・ご協力をいただきながら、職員4人で力を合わせ、地域の発展に尽くしていきたいです。」と抱負を語っていました。



みんな来てね!

夏まつり

日時: 令和7年8月24日(日)
午後3時から
会場: 常磐小学校校庭・体育館
内容: こども太鼓、ビンゴゲーム、常磐小吹奏楽部の演奏、花火大会などのほか、模擬店も多数出店する予定です。



ビンゴゲーム

スポーツ広場(市民運動会)

日時: 令和7年10月12日(日)
午前9時~12時
会場: 常磐小学校校庭
内容: 玉入れ、元気に走ろう(徒競走)、孫は宝、〇×ゲーム、くつ飛ばし、体験コーナー(パンポン、輪投げ)



元気に走ろう(徒競走)

●レクリエーションダンス… 受講生代表

毎月第1・3金曜日の午後1時～2時50分、池田洋子先生のこまやかな指導のもと、6名が楽しい曲を明るくしなやかに踊っています。高齢になったことも忘れるくらいのエネルギー源になっています。

年々体力の衰えは隠せませんが、継続は力なりと自負し、レクリエーションダンスの灯を消さないように、少しでも長く活動していきたいです。これからは、来年のときわ春まつりでの発表に向けての曲が楽しみです。初めての方も大歓迎です。皆さん一緒に踊りませんか。



私たちの健康の秘訣です

常磐市民センター定期講座紹介

受講を希望される方は市民センターへ
☎029-1233-7005

●オカリナB …… 受講生代表

毎月第1・第3火曜日の午前10時～12時、須藤真紀子先生の指導のもと、13人の受講生が活動しています。

オカリナは、陶器製の管楽器で、息を吹き込み音を出すシンプルな楽器です。初心者でも簡単に音を出すことができ、気軽に演奏を楽しむことができます。

昭和の叙情歌を中心に、「ここ難しいね」と四苦八苦しながらも、演奏を楽しんでいます。

皆様のご参加をお待ちしています。



青葉城恋唄を奏でる皆さん

「常磐地区の歴史」

常磐歴史研究会

会長 小林 富雄

旧制水戸高等学校(1)

1920年、水戸市の西、私たちの常磐村、今の市立第一中学校、北水会記念病院を含む8万6千平方メートルの広大な敷地(現東原三丁目)に水戸高等学校が開校しました。

大学予科の高等学校

戦前、全国の若者は帝国大学(水戸高等学校が開校した当時は東京・京都・東北・九州・北海道の5帝大)に入学するために、予科と呼ばれた旧制の高等学校で入学のために修めるべき教育課程を三年間学びました。高等学校入学試験に合格した彼らは、卒業するとほぼ帝大に進学できましたから、3年間の学生生活を謳歌できました。入試は難関で、入学しても成績によっては落第も退学もあり、希望の帝大・学科に入るには優れた成績が必要もありました。

ナンバー、ネームスクール

予科として東京の第一高等学校が1886年に開校し、



旧制水戸高等学校正面
(現在の県道177号赤塚馬口労線に面していた)『水戸高等学校史』より

1908年までに全国で8校が設けられました。これらの高等学校は校名が数字であったことから、後にナンバースクールと呼ばれました。

1919年から地名を冠した高等学校、新潟など四校が開校し、水戸は翌年の第2陣で山形など3校とともに開校しました。その後地名を冠した高等学校が順次開校し、これらは、ネームスクールと呼ばれました。

開校まで

高等学校誘致には茨城県、水戸市が動いていました。宇都宮も手を上げていました。懸案は学校創設の資金でした。50万円が必要とされていたが、茨城県出身の海運業で成功した内田信也がその倍の100万円を寄付したので1920年4月に常磐村に正式決定しました。

学校施設

決定前の1月から学校本館、寄宿舎4棟の工事に着手し、9月開校に向けた入学試験を7月に開くという強行軍でした。

全ての建物、設備それに講堂が完成して落成記念式が行われたのは、3年後の6月でした。東洋一といわれた正規の400mトラック、200mの直線コース、野球場、ラグビー場も備えたグラウンド、木造2階建て本館、木造2階建て七棟の寄宿舎、図書閲覧室、柔剣道場、食堂、炊事場並浴室、官舎等32棟の建物が建てられました。本館外壁は弁柄色に塗装され、玄関正面には水戸高等学校の校章が掲げられました。敷地北東角には威容を誇る銅葺き屋根の講堂が建っていました。

編集後記

2ページに掲載しましたとおり、令和7年度もランド常磐の会では、様々な行事の開催に向けて準備を進めております。行事を運営するスタッフにとって、

たくさんの方々が参加され、会場が笑顔であふれることが、何よりの励みとなっています。また、今号では、民生委員児童委員協議会の活動を紹介しま

した。ランド常磐の会をはじめ、それを構成する14団体では、その活動に携わる新たな方の参加をお待ちしています。

(三宅・小松・磯畑・池田・秋葉・石井)